

情報基盤工学科課程表（2021 年度入学者より適用）

※開講学年前期後期欄 { ○○一前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄一開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分		科 目 名	開講期	開 講 学 年									資格 必修		備 考		
				1 年			2 年			3 年			4 年				
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	}	◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）
教 養 教 育 科 目	T G ベーシックス	聖書を学ぶ	半期	●		2									◎		
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2									◎		
		キリスト教学A（キリスト教と倫理）	半期						●	2					} ◎		
		キリスト教学B（キリスト教と宗教）	半期						●	2							
		キリスト教学C（キリスト教と文化）	半期						●	2							
		キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	半期						●	2							
		市民社会を生きる	半期		●	2											
		地球社会を生きる	半期	●		2											
		科学技術社会を生きる	半期	●		2											
		キャリア形成と大学生活	半期	●		2											
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期	●		2										「知的基礎」から10単位以上を修得すること。	
		数理的思考の基礎	半期	●		2											
		統計的思考の基礎	半期	●		2											
		科学的思考の基礎	半期	●		2											
		情報化社会の基礎	半期	●		2											
		メディア・リテラシー	半期		●	2											
		読解・作文の技法	半期	●		2											
		研究・発表の技法	半期				●		2								
	学 科 教 養 科 目	人 文 社 会	哲学	半期				●		2							「人文社会」から10単位以上を修得すること。
			芸術論	半期	●		2										
			歴史学	半期				●		2							
			心理学	半期				●		2							
			社会学	半期				●		2							
			経済学	半期					●	2							
			経営学	半期					●	2							
			法学	半期					●	2							
		日本国憲法	半期	●		2								◆必修			
		東北地域論	半期					●	2								
		東北学院の歴史	半期							●	2						
		自 然 科 学	健康の科学	半期					●	2							「自然科学」から8単位以上を修得すること。
生命の科学	半期			●	2												
情報リテラシー	半期		●		2								◆必修	◎			
フレッシュパーソンセミナー	半期		●		1									◎			
基礎数学演習	半期		●		1												
基礎物理演習	半期		●		1												
基礎化学演習	半期		●		1												
技術者倫理	半期			●	2												
知的所有権	半期							●	2								
地域教育科目	震災と復興	半期	●		2										「地域教育科目」から2単位以上を修得すること。		
	地域の課題Ⅰ	半期					●		2					◎			
	地域の課題Ⅱ	半期						●	2								
	地域課題演習	通年									4						
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1								◎	「第1類」から必修4単位以上を修得すること。		
		英語ⅠB	半期		●	1								◎			
		英語ⅡA	半期				●		1					◎			
		英語ⅡB	半期					●	1					◎			
		英語コミュニケーションズ	半期					●	2					◆必修			
	第2類	ドイツ語	半期	●		2									週2回開講		
		フランス語	半期		●	2									週2回開講		
		中国語	半期	●		2									週2回開講		
		韓国・朝鮮語	半期		●	2									週2回開講		
	第3類	ベーシック英語	半期	●		1									「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。		
		英語Ⅲ	半期						●	1							
	保健体育科目	体育講義	半期		●	2											
スポーツ実技		通年	●	●	2								◆必修				
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2									外国人留学生は、次により10単位までを外国人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」2単位 日本語ⅠAは「英語ⅠA」1単位、日本語ⅠBは「英語ⅠB」1単位 日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語ⅡBは「英語ⅡB」1単位		
		日本事情B	半期			2											
		日本事情C	半期			2											
	第2類	日本語ⅠA	半期	●		1											
		日本語ⅠB	半期		●	1											
		日本語ⅡA	半期				●		1								
		日本語ⅡB	半期					●	1								

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												資 格		備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修			
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位				
			○印－必修科目 ○、※印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）															
学 部 共 通 専 門 科 目	物理学Ⅰ	半期		●	2											○	「学部共通専門科目」から必修科目20単位を含む28単位以上を修得するものとする。 ただし、「物理学Ⅱ」、「自然科学実験ファンダメンタルズ」、「微分方程式」、「フーリエ解析」、「確率統計学」、「プログラミング基礎」、「プログラミング応用」、「工業英語」から6単位以上を含むこと。 卒業研究Ⅱは卒業試験を含む	
	物理学Ⅱ	半期				●		2								※		
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2											○		
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2											○		
	線形代数学	半期	●		2											○		
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期		●	2											※		
	微分方程式	半期				●		2								※		
	フーリエ解析	半期					●	2								※		
	確率統計学	半期					●	2								※		
	プログラミング基礎	半期		●	2											○		
	プログラミング応用	半期				●		2								※		
	工業英語	半期							●		2					※		
	工学総合演習Ⅰ	半期					●	1								○		
	工学総合演習Ⅱ	半期								●	1					○		
	ジュニアセミナー	半期								●	2					○		
	卒業研究Ⅰ	半期										●		3		○		
	卒業研究Ⅱ	半期											●	3		○		
	学外見学	半期								●	1							
	インターンシップ	半期								●	1							
	キャリア・デザイン	半期								●		2						
海外研究Ⅰ	半期					●		2										
海外研究Ⅱ	半期						●	2										
学 科 専 門 科 目	情報基盤工学基礎科目群	情報数理演習Ⅰ(線形代数学)	半期	●		1										○	情報基盤工学基礎科目群から13単位以上	
		情報数理演習Ⅱ(微分積分学Ⅰ)	半期	●		1										○		
		情報数理演習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)	半期		●	1										○		
		確率統計学演習	半期					●	1							○		
		情報数学	半期					●	2							○		
		情報数学演習	半期					●	1							○		
		応用線形代数学	半期		●	2										○		
		応用線形代数学演習	半期		●	1										○		
		情報理論	半期				●		2							○		
		情報理論演習	半期				●		1							○		
		符号理論	半期								●	2				◆		
		最適化法	半期					●	2									
		信号処理工学	半期							●		2				◆		
	情報工学科目群	情報工学基礎	半期	●		2					●		2				○	情報工学科目群から10単位以上
		データサイエンス	半期								●		2				○	
		データサイエンス演習	半期								●		1				○	
		アルゴリズム論	半期					●	2							○		
		アルゴリズム論演習	半期					●	1							○		
		ソフトウェア開発演習Ⅰ	半期				●		2						◆必修	○		
		ソフトウェア開発演習Ⅱ	半期					●	2						◆必修			
		シミュレーション工学	半期									●		2		◆		
		センサネットワーク工学	半期								●	2				◆		
		人工知能	半期								●	2				◆		
		デジタル回路設計	半期				●		2							◆		
		情報セキュリティ工学	半期								●	2						
		オペレーティングシステム論	半期										●		2			
	通信工学科目群	情報通信工学	半期							●		2				◆必修	○	通信工学科目群から11単位以上
		通信システム工学	半期								●	2				◆必修	○	
		インターネット工学	半期								●	2				◆必修	○	
		インターネット工学演習	半期								●	1					○	
		電気電子計測	半期							●		2				◆必修	○	
		通信工学基礎Ⅰ	半期				●		2							◆必修	○	
		通信工学基礎Ⅱ	半期				●		2									
		通信工学基礎Ⅲ	半期					●	2									
		通信工学基礎演習	半期					●	1							◆		
		電磁波工学	半期								●	2						
		情報通信法規	半期										●		2			
		情報通信工学実験Ⅰ	半期								●		2			◆必修		
		情報通信工学実験Ⅱ	半期									●	2			◆必修		

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年									資 格		備 考			
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修		
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期			単 位	
			} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）														
教育職員免許 状の教科に関 する科目	工業技術概論	半期										●		2	◆必修		
	工科系の職業指導	半期										●		2	◆必修		
	情報基盤系の職業指導	半期											●	2	◆必修		
教 職 等 に 関 する 科 目	現代教職論	半期			2										◆必修		
	教育基礎論	半期	●		2										◆必修		
	教育の制度と経営	半期		●	2										◆必修		
	教育心理学	半期						2							◆必修		
	教育課程論	半期				●		2							◆必修		
	教育の方法と技術	半期						2							◆必修		
	教育相談の理論と方法	半期						2							◆必修		
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◆必修		
	工業科教育法（概論・理論）	半期							●		2				◆必修		
	工業科教育法（実践・応用）	半期								●	2				◆必修		
	特別支援教育論	半期									2				◆必修		
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				◆必修		
	教育実習Ⅰ	通年												3	◆必修		
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	◆必修		

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目			2	
外国語科目		第 1 類（必修）	4	
学部共通専門科目※			28	
学科専門科目	情報基盤工学基礎科目群		13	52
	情報工学科目群		10	
	通信工学科目群		11	
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第 1 類～第 2 類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計 8 単位まで)				
卒業単位				124

※「物理学Ⅱ」、「自然科学実験ファンダメンタルズ」、「微分方程式」、「フーリエ解析」、「確率統計学」、「プログラミング応用」、「工業英語」から6単位以上を含むこと。

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目 (ジュニアセミナーを含むこと)	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 情報数理演習Ⅰ（線形代数学）	
2 情報数理演習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）	
3 情報数理演習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）	
4 ソフトウェア開発演習Ⅰ	
進級単位	100

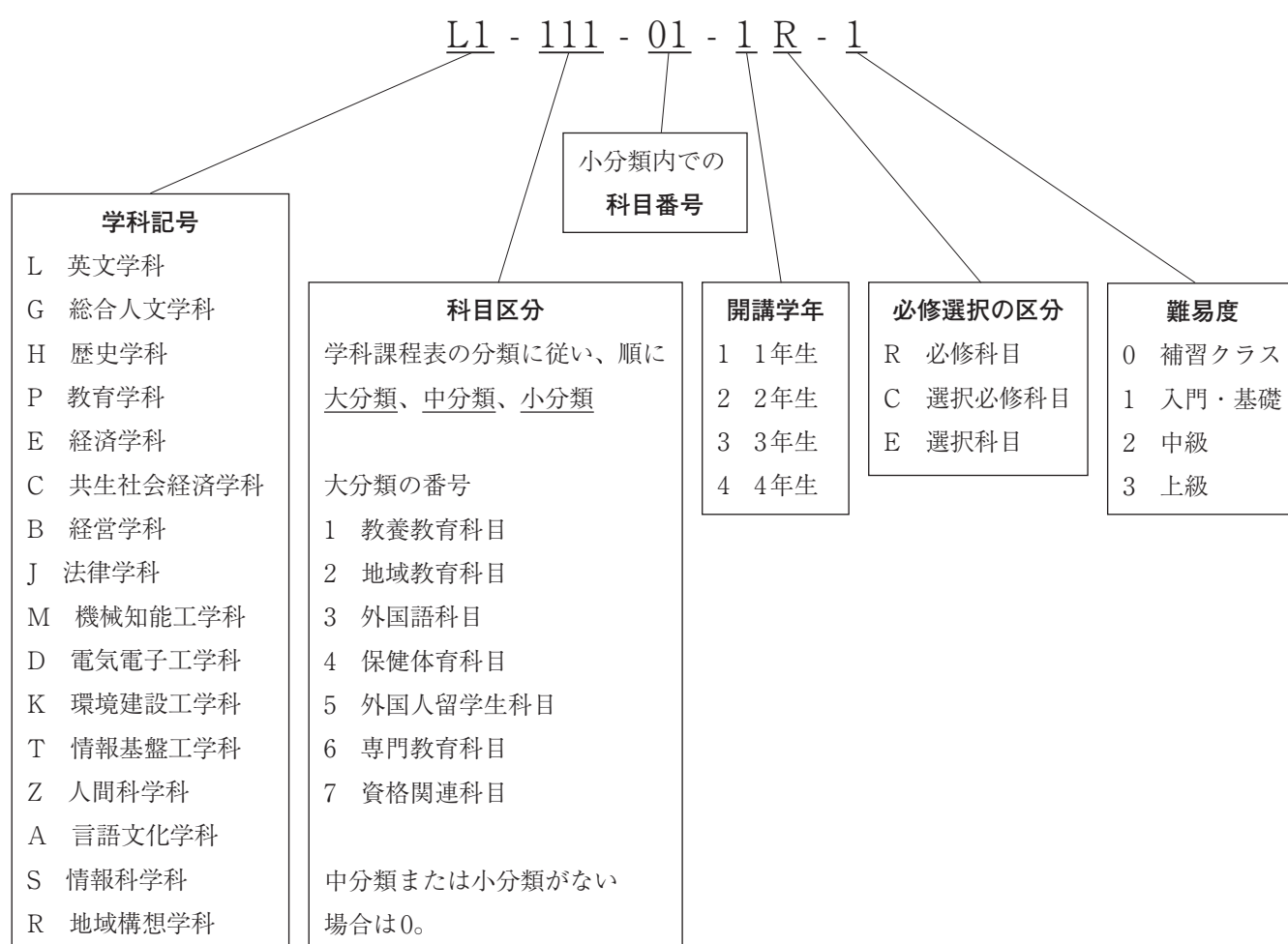
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、
学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
T0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
T0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
T0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
T0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
T0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
T0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
T0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
T0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
T0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
T0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
T0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
T0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
T0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
T0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
T0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
T0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
T0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
T0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
T0-121-01-2E-1	哲学			◎		
T0-121-02-1E-1	芸術論			◎		
T0-121-03-2E-1	歴史学			◎		
T0-121-04-2E-1	心理学			◎		
T0-121-05-2E-1	社会学			◎		
T0-121-06-2E-1	経済学			◎		
T0-121-07-2E-1	経営学			◎		
T0-121-08-2E-1	法学			◎		
T0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		
T0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		
T0-121-11-3E-1	東北学院の歴史	○		◎		
T0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		
T0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		
T0-122-03-1R-1	情報リテラシー		◎		○	
T0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー		○		◎	
T0-122-05-1E-1	基礎数学演習			◎	○	
T0-122-06-1E-1	基礎物理演習			◎	○	
T0-122-07-1E-1	基礎化学演習			◎	○	
T0-122-08-1E-1	技術者倫理				◎	○
T0-122-09-3E-2	知的所有権				◎	○
T0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
T0-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
T0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
T0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
T0-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
T0-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
T0-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
T0-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
T0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
T0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
T0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
T0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
T0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
T0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
T0-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○		
T0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
T0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
T0-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
T0-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
T0-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
T0-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○		
T0-520-02-1E-1	日本語ⅠB		◎	○		
T0-520-03-2E-2	日本語ⅡA		◎	○		
T0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							
		現代をよく生 きることに ついて、キリス ト教の教えを 踏まえた考察 ができる	高度な知的活 動に必要な汎 用的諸技能・ 能力及び英語 力を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	(1) 工学系分野が基礎とする数学や自然科学及び工学系の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。	(2) 社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べることができる。	(3) 卒業研究を通して、専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。	(4) 工学系の幅広い分野の事象に興味を持ち、その状況下での工学技術者としての倫理の重要性について説明することができる。
T0-610-01-1R-1	物理学Ⅰ			○	◎				
T0-610-02-2C-2	物理学Ⅱ			○	◎				
T0-610-03-1R-1	微分積分学Ⅰ			○	◎				
T0-610-04-1R-2	微分積分学Ⅱ			○	◎				
T0-610-05-1R-1	線形代数学			○	◎				
T0-610-06-1C-1	自然科学実験ファンダメンタルズ			○	◎				
T0-610-07-2C-2	微分方程式			○	◎				
T0-610-08-2C-3	フーリエ解析			○	◎				
T0-610-09-2C-2	確率統計学			○	◎				
T0-610-10-1R-1	プログラミング基礎				◎				○
T0-610-11-2C-2	プログラミング応用				◎				○
T0-610-12-3C-2	工業英語		◎	○					
T0-610-13-2R-2	工学総合演習Ⅰ			◎	○				
T0-610-14-3R-3	工学総合演習Ⅱ			◎	○				
T0-610-15-3R-3	ジュニアセミナー			◎					○
T0-610-16-4R-3	卒業研究Ⅰ						○	◎	
T0-610-17-4R-3	卒業研究Ⅱ						○	◎	
T0-610-18-3E-3	学外見学						◎		○
T0-610-19-3E-3	インターンシップ			○			◎		○
T0-610-20-3E-3	キャリア・デザイン			○			◎		○
T0-610-21-2E-3	海外研究Ⅰ		◎	○					
T0-610-22-2E-3	海外研究Ⅱ		◎	○					
T0-620-01-1R-1	情報数理解演習Ⅰ（線形代数学）			○	◎				
T0-620-02-1R-1	情報数理解演習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）			○	◎				
T0-620-03-1R-2	情報数理解演習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）			○	◎				
T0-620-04-2R-2	確率統計学演習			○	◎				
T0-620-05-2R-2	情報数学			○	◎				
T0-620-06-2R-2	情報数学演習			○	◎				
T0-620-07-1R-2	応用線形代数学			○	◎				
T0-620-08-1R-2	応用線形代数学演習			○	◎				
T0-620-09-2R-2	情報理論			○	◎				
T0-620-10-2R-2	情報理論演習			○	◎				
T0-620-11-3E-3	符号理論			○	◎				
T0-620-12-2E-2	最適化法			○	◎				
T0-620-13-3E-3	信号処理工学			○	◎				
T0-630-01-1R-1	情報工学基礎			○	◎				
T0-630-02-3R-2	データサイエンス			○	◎				
T0-630-03-3R-2	データサイエンス演習			○	◎				
T0-630-04-2R-2	アルゴリズム論			○	◎				
T0-630-05-2R-2	アルゴリズム論演習			○	◎				
T0-630-06-2R-1	ソフトウェア開発演習Ⅰ			○					◎
T0-630-07-2E-2	ソフトウェア開発演習Ⅱ			○					◎
T0-630-08-4E-3	シミュレーション工学			○	◎				
T0-630-09-3E-3	センサネットワーク工学			○	◎				
T0-630-10-3E-3	人工知能			○	◎				
T0-630-11-2E-2	デジタル回路設計			○	◎				
T0-630-12-3E-3	情報セキュリティ工学			○	◎				
T0-630-13-4E-3	オペレーティングシステム論			○	◎				
T0-640-01-3R-2	情報通信工学			○	◎				
T0-640-02-3R-3	通信システム工学			○	◎				
T0-640-03-3R-2	インターネット工学			○	◎				
T0-640-04-3R-2	インターネット工学演習			○	◎				
T0-640-05-3R-2	電気電子計測			○	◎				
T0-640-06-2R-1	通信工学基礎Ⅰ			○	◎				
T0-640-07-2E-2	通信工学基礎Ⅱ			○	◎				
T0-640-08-2E-2	通信工学基礎Ⅲ			○	◎				
T0-640-09-2E-2	通信工学基礎演習			○	◎				
T0-640-10-3E-3	電磁波工学			○	◎				
T0-640-11-4E-2	情報通信法規			○	◎				
T0-640-12-3E-2	情報通信工学実験Ⅰ			○					◎
T0-640-13-3E-3	情報通信工学実験Ⅱ			○					◎

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生 きることに ついて、キ リスト教の 教えを踏 まえた考 察が できる	高度な知的活 動に必要な汎 用的諸技能・ 能力及び英語 力を活用でき る	ものを広 く多様な視 点から認識し、 異なる認識・ 思考方法や価 値観に理解を 示すことがで きる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	(1) 工学系分野が基礎とする数学や自然科学及び工学系の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。	(2) 社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べることができる。	(3) 卒業研究を通して、専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。	
T0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎				
T0-701-02-4R-2	工科系の職業指導			○	◎				
T0-701-03-4R-2	情報基盤系の職業指導			○	◎				
T0-702-01-1R-1	現代教職論			◎					
T0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎					
T0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎					
T0-702-04-2R-2	教育心理学			◎					
T0-702-05-2R-2	教育課程論			◎					
T0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎					
T0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎					
T0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎					
T0-702-09-3R-3	工業科教育法（概論・理論）			○	◎				
T0-702-10-3R-3	工業科教育法（実践・応用）			○	◎				
T0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎				
T0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎				
T0-702-13-4R-3	教育実習Ⅰ				○				◎
T0-702-14-4R-3	教職実践演習（中・高）			○					◎

情報基盤工学科課程表（2019 年度入学者より適用）

※開講学年前期後期欄 { ○○－前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開講期	開 講 学 年												資格		必修	備 考
					1 年			2 年			3 年			4 年						
					前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	○印－必修科目 ○印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）			
教 養 教 育 科 目	T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2									○	◇情報基盤工学科を卒業し、学士号を得るためには124単位以上を修得しなければならない。			
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2								○					
			キリスト教A（キリスト教と倫理）	半期						●	2				} ○	4科目のうち1科目2単位を必修とする。計4単位まで卒業単位に算入することができる。				
			キリスト教B（キリスト教と宗教）	半期						●	2									
			キリスト教C（キリスト教と文化）	半期						●	2									
			キリスト教D（キリスト教と現代社会）	半期						●	2									
			市民社会を生きる	半期		●	2													
			地球社会を生きる	半期	●		2													
		科学技術社会を生きる	半期	●		2														
		キャリア形成と大学生活	半期	●		2														
		知的基礎	クリティカル・シンキング	半期	●		2										「知的基礎」から10単位以上を修得すること。			
			数理的思考の基礎	半期	●		2													
			統計的思考の基礎	半期	●		2													
			科学的思考の基礎	半期	●		2													
	情報化社会の基礎		半期	●		2														
	メディア・リテラシー		半期		●	2														
	学 科 教 養 科 目	人文社会	読解・作文の技法	半期	●		2										「人文社会」から10単位以上を修得すること。			
			研究・発表の技法	半期				●	2											
			哲学	半期				●	2											
			芸術論	半期	●		2													
			歴史学	半期				●	2											
			心理学	半期				●	2											
			社会学	半期				●	2											
			経済学	半期					●	2										
		経営学	半期					●	2											
		法学	半期					●	2											
		日本国憲法	半期	●		2								◆必修						
		東北地域論	半期					●	2											
自然科学		健康の科学	半期					●	2							「自然科学」から8単位以上を修得すること。				
		生命の科学	半期		●	2														
	情報リテラシー	半期	●		2								◆必修	○						
	フレッシュパーソンセミナー	半期	●		1									○						
	基礎数学演習	半期	●		1															
	基礎物理演習	半期	●		1															
	基礎化学演習	半期	●		1															
	技術者倫理	半期		●	2															
地域教育科目	知的所有権	半期						●	2						「地域教育科目」から2単位以上を修得すること。					
	震災と復興	半期	●		2															
	地域の課題Ⅰ	半期				●	2						○							
	地域の課題Ⅱ	半期				●	2													
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1									○	「第1類」から必修4単位以上を修得すること。				
		英語ⅠB	半期		●	1								○						
		英語ⅡA	半期				●	1						○						
		英語ⅡB	半期				●	1						○						
		英語コミュニケーションズ	半期				●	2						◆必修						
	第2類	ドイツ語	半期	●		2										週2回開講				
		フランス語	半期		●	2										週2回開講				
		中国語	半期	●		2										週2回開講				
		韓国・朝鮮語	半期		●	2										週2回開講				
	第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。				
		英語Ⅲ	半期						●	1										
	保健体育科目	体育講義	半期		●	2														
		スポーツ実技	通年	●	●	2								◆必修						
	外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2									外国人留学生は、次により10単位までを外国人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」2単位 日本語ⅠAは「英語ⅠA」1単位、日本語ⅠBは「英語ⅠB」1単位 日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語ⅡBは「英語ⅡB」1単位				
日本事情B			半期			2														
日本事情C			半期			2														
第2類		日本語ⅠA	半期	●		1														
		日本語ⅠB	半期		●	1														
		日本語ⅡA	半期				●	1												
		日本語ⅡB	半期				●	1												

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												資 格		備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修			
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位				
} ○印－必修科目 } ○、※印－選択必修科目 } ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）																		
学 部 共 通 専 門 科 目	物理学Ⅰ	半期		●	2											○	「学部共通専門科目」から必修科目20単位を含む28単位以上を修得するものとする。 ただし、「物理学Ⅱ」、「自然科学実験ファンダメンタルズ」、「微分方程式」、「フーリエ解析」、「確率統計学」、「プログラミング基礎」、「プログラミング応用」、「工業英語」から6単位以上を含むこと。 卒業研究Ⅱは卒業試験を含む	
	物理学Ⅱ	半期				●		2								※		
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2													○
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2													○
	線形代数学	半期	●		2													○
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期		●	2													※
	微分方程式	半期				●		2										※
	フーリエ解析	半期					●	2										※
	確率統計学	半期					●	2										※
	プログラミング基礎	半期		●	2													○
	プログラミング応用	半期				●		2										※
	工業英語	半期							●		2							※
	工学総合演習Ⅰ	半期					●	1										○
	工学総合演習Ⅱ	半期								●	1							○
	ジュニアセミナー	半期								●	2							○
	卒業研究Ⅰ	半期										●		3				○
	卒業研究Ⅱ	半期											●	3				○
	学外見学	半期								●	1							
	インターンシップ	半期								●	1							
	キャリア・デザイン	半期								●		2						
海外研究Ⅰ	半期				●		2											
海外研究Ⅱ	半期					●	2											
学 科 専 門 科 目	情報基盤工学基礎科目群	情報数理演習Ⅰ(線形代数学)	半期	●		1											○	情報基盤工学基礎科目群から13単位以上
		情報数理演習Ⅱ(微分積分学Ⅰ)	半期	●		1											○	
		情報数理演習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)	半期		●	1											○	
		確率統計学演習	半期					●	1								○	
		情報数学	半期					●	2								○	
		情報数学演習	半期					●	1								○	
		応用線形代数学	半期		●	2											○	
		応用線形代数学演習	半期		●	1											○	
		情報理論	半期				●		2								○	
		情報理論演習	半期				●		1								○	
		符号理論	半期								●	2				◆		
		最適化法	半期					●	2									
	信号処理工学	半期							●		2				◆			
	情報工学科目群	情報工学基礎	半期	●		2					●		2				○	情報工学科目群から10単位以上
		データサイエンス	半期								●		2				○	
		データサイエンス演習	半期								●		1				○	
		アルゴリズム論	半期					●	2								○	
		アルゴリズム論演習	半期					●	1								○	
		ソフトウェア開発演習Ⅰ	半期				●		2						◆必修	○		
		ソフトウェア開発演習Ⅱ	半期					●	2						◆必修			
		シミュレーション工学	半期									●		2		◆		
		センサネットワーク工学	半期								●	2				◆		
		人工知能	半期								●	2				◆		
	デジタル回路設計	半期				●		2							◆			
	情報セキュリティ工学	半期								●	2							
	オペレーティングシステム論	半期										●		2				
	通信工学科目群	情報通信工学	半期							●		2				◆必修	○	通信工学科目群から11単位以上
		通信システム工学	半期								●	2				◆必修	○	
		インターネット工学	半期							●		2				◆必修	○	
		インターネット工学演習	半期								●	1					○	
		電気電子計測	半期							●		2				◆必修	○	
		通信工学基礎Ⅰ	半期				●		2						◆必修	○		
		通信工学基礎Ⅱ	半期				●		2									
通信工学基礎Ⅲ		半期					●	2										
通信工学基礎演習		半期					●	1							◆			
電磁波工学		半期								●	2							
情報通信法規		半期										●		2				
情報通信工学実験Ⅰ	半期								●		2			◆必修				
情報通信工学実験Ⅱ	半期									●	2			◆必修				

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年									資 格		備 考			
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修		
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期			単 位	
			} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）														
教育職員免許 状の教科に関 する科目	工業技術概論	半期										●		2	◆必修		
	工科系の職業指導	半期										●		2	◆必修		
	情報基盤系の職業指導	半期											●	2	◆必修		
教職等に関 する科目	現代教職論	半期			2										◆必修		
	教育基礎論	半期	●		2										◆必修		
	教育の制度と経営	半期		●	2										◆必修		
	教育心理学	半期						2							◆必修		
	教育課程論	半期				●		2							◆必修		
	教育の方法と技術	半期						2							◆必修		
	教育相談の理論と方法	半期						2							◆必修		
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◆必修		
	工業科教育法（概論・理論）	半期							●		2				◆必修		
	工業科教育法（実践・応用）	半期								●	2				◆必修		
	特別支援教育論	半期									2				◆必修		
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2				◆必修		
	教育実習Ⅰ	通年												3	◆必修		
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	◆必修		

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目			2	
外国語科目		第 1 類（必修）	4	
学部共通専門科目※			28	
学科専門科目	情報基盤工学基礎科目群		13	52
	情報工学科目群		10	
	通信工学科目群		11	
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第 1 類～第 2 類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計 8 単位まで)				
卒業単位				124

※「物理学Ⅱ」、「自然科学実験ファンダメンタルズ」、「微分方程式」、「フーリエ解析」、「確率統計学」、「プログラミング応用」、「工業英語」から6単位以上を含むこと。

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目 (ジュニアセミナーを含むこと)	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 情報数理演習Ⅰ（線形代数学）	
2 情報数理演習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）	
3 情報数理演習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）	
4 ソフトウェア開発演習Ⅰ	
進級単位	100

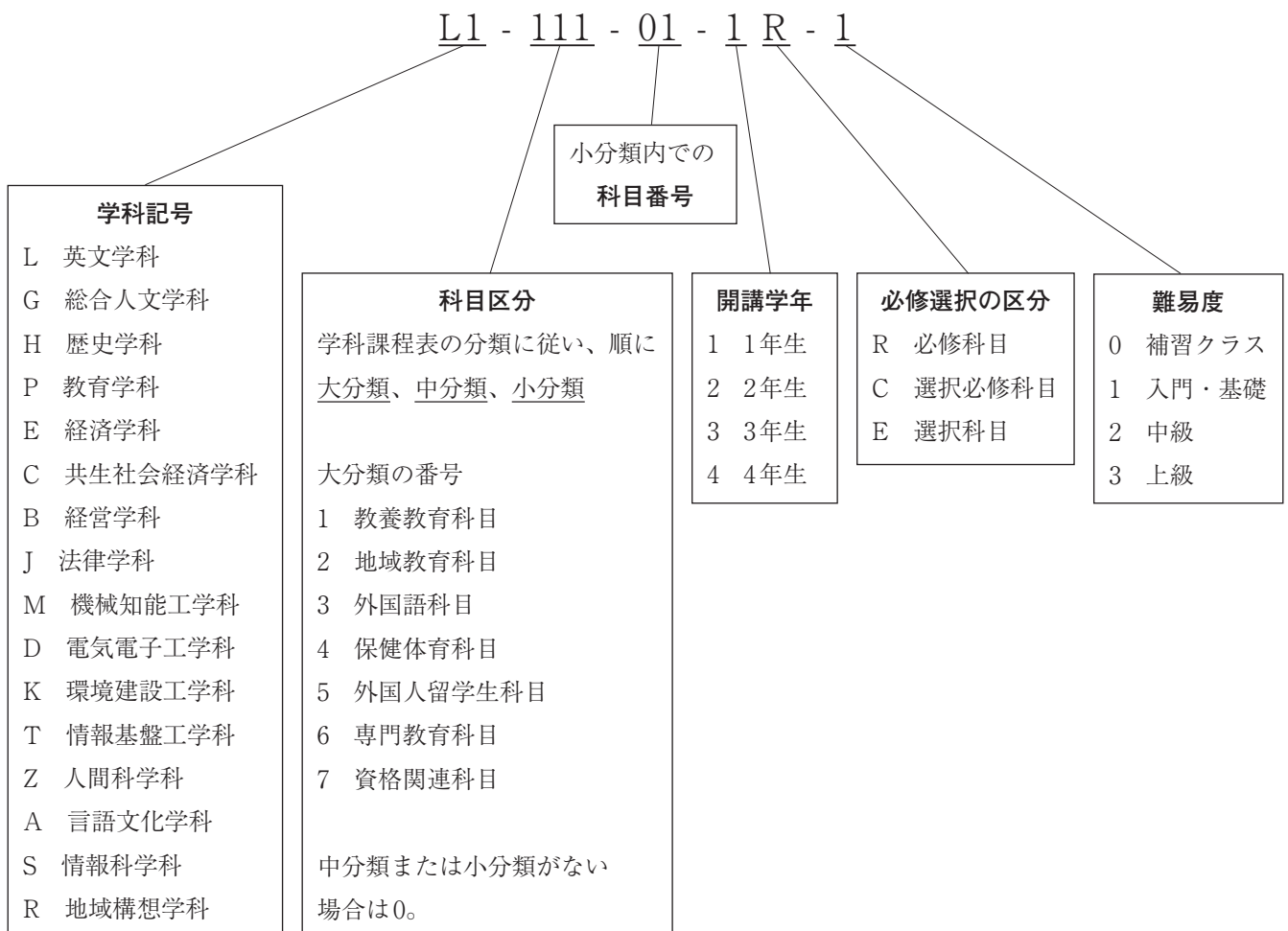
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生 きることに ついて、キリ スト教の教 えを踏まえ た考察が できる	高度な知的 活動に必要 な汎用的諸 技能・能力 及び英語 力を活用 できる	ものごと を広く多 様な視点 から認識 し、異な る認識・ 思考方法 や価値観 に理解を 示すこと ができる	専攻分野 の専門的 知識とそ れを支え る認識や 思考の方 法を説明 できる	課題を発 見し、その 解決のた めに学修 成果を総 合的に活 用できる
T0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
T0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
T0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
T0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
T0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
T0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
T0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
T0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
T0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
T0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
T0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
T0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
T0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
T0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
T0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
T0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
T0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
T0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
T0-121-01-2E-1	哲学			◎		
T0-121-02-1E-1	芸術論			◎		
T0-121-03-2E-1	歴史学			◎		
T0-121-04-2E-1	心理学			◎		
T0-121-05-2E-1	社会学			◎		
T0-121-06-2E-1	経済学			◎		
T0-121-07-2E-1	経営学			◎		
T0-121-08-2E-1	法学			◎		
T0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		
T0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		
T0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		
T0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		
T0-122-03-1R-1	情報リテラシー		◎		○	
T0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー		○		◎	
T0-122-05-1E-1	基礎数学演習			◎	○	
T0-122-06-1E-1	基礎物理演習			◎	○	
T0-122-07-1E-1	基礎化学演習			◎	○	
T0-122-08-1E-1	技術者倫理				◎	○
T0-122-09-3E-2	知的所有権				◎	○
T0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
T0-200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
T0-200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
T0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
T0-310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
T0-310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
T0-310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
T0-310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
T0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
T0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
T0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
T0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
T0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
T0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
T0-330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○		
T0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
T0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
T0-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
T0-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
T0-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
T0-520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○		
T0-520-02-1E-1	日本語ⅠB		◎	○		
T0-520-03-2E-2	日本語ⅡA		◎	○		
T0-520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	(1) 工学系分野が基礎とする数学や自然科学及び工学系の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。	(2) 社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べることができる。	(3) 卒業研究を通して、専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。	(4) 工学系の幅広い分野の事象に興味を持ち、その状況下での工学技術者としての倫理の重要性について説明することができる。
T0-610-01-1R-1	物理学Ⅰ			○	◎				
T0-610-02-2C-2	物理学Ⅱ			○	◎				
T0-610-03-1R-1	微分積分学Ⅰ			○	◎				
T0-610-04-1R-2	微分積分学Ⅱ			○	◎				
T0-610-05-1R-1	線形代数学			○	◎				
T0-610-06-1C-1	自然科学実験ファンダメンタルズ			○	◎				
T0-610-07-2C-2	微分方程式			○	◎				
T0-610-08-2C-3	フーリエ解析			○	◎				
T0-610-09-2C-2	確率統計学			○	◎				
T0-610-10-1R-1	プログラミング基礎				◎				○
T0-610-11-2C-2	プログラミング応用				◎				○
T0-610-12-3C-2	工業英語		◎	○					
T0-610-13-2R-2	工学総合演習Ⅰ			◎	○				
T0-610-14-3R-3	工学総合演習Ⅱ			◎	○				
T0-610-15-3R-3	ジュニアセミナー			◎					○
T0-610-16-4R-3	卒業研究Ⅰ						○	◎	
T0-610-17-4R-3	卒業研究Ⅱ						○	◎	
T0-610-18-3E-3	学外見学						◎		○
T0-610-19-3E-3	インターンシップ			○			◎		○
T0-610-20-3E-3	キャリア・デザイン			○			◎		○
T0-610-21-2E-3	海外研究Ⅰ		◎	○					
T0-610-22-2E-3	海外研究Ⅱ		◎	○					
T0-620-01-1R-1	情報数理解習Ⅰ（線形代数学）			○	◎				
T0-620-02-1R-1	情報数理解習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）			○	◎				
T0-620-03-1R-2	情報数理解習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）			○	◎				
T0-620-04-2R-2	確率統計学演習			○	◎				
T0-620-05-2R-2	情報数学			○	◎				
T0-620-06-2R-2	情報数学演習			○	◎				
T0-620-07-1R-2	応用線形代数学			○	◎				
T0-620-08-1R-2	応用線形代数学演習			○	◎				
T0-620-09-2R-2	情報理論			○	◎				
T0-620-10-2R-2	情報理論演習			○	◎				
T0-620-11-3E-3	符号理論			○	◎				
T0-620-12-2E-2	最適化法			○	◎				
T0-620-13-3E-3	信号処理工学			○	◎				
T0-630-01-1R-1	情報工学基礎			○	◎				
T0-630-02-3R-2	データサイエンス			○	◎				
T0-630-03-3R-2	データサイエンス演習			○	◎				
T0-630-04-2R-2	アルゴリズム論			○	◎				
T0-630-05-2R-2	アルゴリズム論演習			○	◎				
T0-630-06-2R-1	ソフトウェア開発演習Ⅰ			○					◎
T0-630-07-2E-2	ソフトウェア開発演習Ⅱ			○					◎
T0-630-08-4E-3	シミュレーション工学			○	◎				
T0-630-09-3E-3	センサネットワーク工学			○	◎				
T0-630-10-3E-3	人工知能			○	◎				
T0-630-11-2E-2	デジタル回路設計			○	◎				
T0-630-12-3E-3	情報セキュリティ工学			○	◎				
T0-630-13-4E-3	オペレーティングシステム論			○	◎				
T0-640-01-3R-2	情報通信工学			○	◎				
T0-640-02-3R-3	通信システム工学			○	◎				
T0-640-03-3R-2	インターネット工学			○	◎				
T0-640-04-3R-2	インターネット工学演習			○	◎				
T0-640-05-3R-2	電気電子計測			○	◎				
T0-640-06-2R-1	通信工学基礎Ⅰ			○	◎				
T0-640-07-2E-2	通信工学基礎Ⅱ			○	◎				
T0-640-08-2E-2	通信工学基礎Ⅲ			○	◎				
T0-640-09-2E-2	通信工学基礎演習			○	◎				
T0-640-10-3E-3	電磁波工学			○	◎				
T0-640-11-4E-2	情報通信法規			○	◎				
T0-640-12-3E-2	情報通信工学実験Ⅰ			○					◎
T0-640-13-3E-3	情報通信工学実験Ⅱ			○					◎

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	(1) 工学系分野が基礎とする数学や自然科学及び工学系の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。	(2) 社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べることができる。	(3) 卒業研究を通して、専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。	(4) 工学系の幅広い分野の事象に興味を持ち、その状況下での工学技術者としての倫理の重要性について説明することができる。
T0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎				
T0-701-02-4R-2	工科系の職業指導			○	◎				
T0-701-03-4R-2	情報基盤系の職業指導			○	◎				
T0-702-01-1R-1	現代教職論			◎					
T0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎					
T0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎					
T0-702-04-2R-2	教育心理学			◎					
T0-702-05-2R-2	教育課程論			◎					
T0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎					
T0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎					
T0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎					
T0-702-09-3R-3	工業科教育法（概論・理論）			○	◎				
T0-702-10-3R-3	工業科教育法（実践・応用）			○	◎				
T0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎				
T0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎				
T0-702-13-4R-3	教育実習Ⅰ				○				◎
T0-702-14-4R-3	教職実践演習（中・高）			○					◎

情報基盤工学科課程表（平成 29（2017）年度入学者より適用）

※開講学年前期後期欄 { ○○一前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄一開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開講期	開 講 学 年									資格 必修		備 考			
					1 年			2 年			3 年			4 年					
					前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期		単位		
					} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）														
教養教育科目	T G ベーシックス	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2										◎	◇情報基盤工学科を卒業し、学士号を得るためには124単位以上を修得しなければならない。 4科目のうち1科目2単位を必修とする。計4単位まで卒業単位に算入することができる。	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2										◎		
			キリスト教学A（キリスト教と倫理）	半期							●	2							} ◎
			キリスト教学B（キリスト教と宗教）	半期							●	2							
			キリスト教学C（キリスト教と文化）	半期							●	2							
			キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	半期							●	2							
			市民社会を生きる	半期		●	2												
			地球社会を生きる	半期	●		2												
			科学技術社会を生きる	半期	●		2												
			キャリア形成と大学生活	半期	●		2												
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期	●		2												「知的基礎」から10単位以上を修得すること。	
		数理的思考の基礎	半期	●		2													
		統計的思考の基礎	半期	●		2													
		科学的思考の基礎	半期	●		2													
		情報化社会の基礎	半期	●		2													
		メディア・リテラシー	半期		●	2													
		読解・作文の技法	半期	●		2													
	人文社会	研究・発表の技法	半期				●		2									「人文社会」から10単位以上を修得すること。	
		哲学	半期				●		2										
		芸術論	半期	●		2													
		歴史学	半期				●		2										
		心理学	半期				●		2										
		社会学	半期				●		2										
		経済学	半期					●	2										
		経営学	半期					●	2										
		法学	半期					●	2										
		日本国憲法	半期	●		2									◆必修				
	東北地域論	半期					●	2											
自然科学	健康の科学	半期					●	2									「自然科学」から8単位以上を修得すること。		
	生命の科学	半期			●	2													
	情報リテラシー	半期	●		2									◆必修	◎				
	フレッシュパーソンセミナー	半期	●		1										◎				
	基礎数学演習	半期	●		1														
	基礎物理演習	半期	●		1														
	基礎化学演習	半期	●		1														
	技術者倫理	半期		●	2														
知的所有権	半期							●	2										
地域教育科目	震災と復興	半期	●		2												「地域教育科目」から2単位以上を修得すること。		
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2							◎				
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2											
	地域課題演習	通年									4								
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1										◎	「第1類」から必修4単位以上を修得すること。		
		英語ⅠB	半期		●	1										◎			
		英語ⅡA	半期				●		1							◎			
		英語ⅡB	半期					●	1							◎			
		英語コミュニケーションズ	半期					●	2						◆必修				
	第2類	ドイツ語	半期	●		2											週2回開講		
		フランス語	半期		●	2											週2回開講		
		中国語	半期	●		2											週2回開講		
		韓国・朝鮮語	半期		●	2											週2回開講		
	第3類	ベーシック英語	半期	●		1											「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。		
英語Ⅲ		半期						●	1										
保健体育科目			体育講義	半期		●	2										◆必修		
			スポーツ実技	通年	●	●	2												
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2											外国人留学生は、次により10単位までを外国人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」2単位 日本語ⅠAは「英語ⅠA」1単位、日本語ⅠBは「英語ⅠB」1単位 日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語ⅡBは「英語ⅡB」1単位		
		日本事情B	半期			2													
		日本事情C	半期			2													
	第2類	日本語ⅠA	半期	●		1													
		日本語ⅠB	半期		●	1													
		日本語ⅡA	半期				●		1										
		日本語ⅡB	半期					●	1										

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												資 格		備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			必修			
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位				
			} ○印－必修科目 } ○、※印－選択必修科目 } ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）															
学 部 共 通 専 門 科 目	物理学Ⅰ	半期		●	2											○	「学部共通専門科目」から必修科目20単位を含む28単位以上を修得するものとする。 ただし、「物理学Ⅱ」、「自然科学実験ファンダメンタルズ」、「微分方程式」、「フーリエ解析」、「確率統計学」、「プログラミング基礎」、「プログラミング応用」、「工業英語」から6単位以上を含むこと。 卒業研究Ⅱは卒業試験を含む	
	物理学Ⅱ	半期				●		2								※		
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2											○		
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2											○		
	線形代数学	半期	●		2											○		
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期		●	2											※		
	微分方程式	半期				●		2								※		
	フーリエ解析	半期					●	2								※		
	確率統計学	半期					●	2								※		
	プログラミング基礎	半期		●	2											○		
	プログラミング応用	半期				●		2								※		
	工業英語	半期							●		2					※		
	工学総合演習Ⅰ	半期					●	1								○		
	工学総合演習Ⅱ	半期								●	1					○		
	ジュニアセミナー	半期								●	2					○		
	卒業研究Ⅰ	半期										●		3		○		
	卒業研究Ⅱ	半期											●	3		○		
	学外見学	半期								●	1							
	インターンシップ	半期								●	1							
	キャリア・デザイン	半期								●		2						
海外研究Ⅰ	半期					●		2										
海外研究Ⅱ	半期						●	2										
学 科 専 門 科 目	情報基盤工学基礎科目群	情報数理演習Ⅰ(線形代数学)	半期	●		1										○	情報基盤工学基礎科目群から13単位以上	
		情報数理演習Ⅱ(微分積分学Ⅰ)	半期	●		1										○		
		情報数理演習Ⅲ(微分積分学Ⅱ)	半期		●	1										○		
		確率統計学演習	半期					●	1							○		
		情報数学	半期					●	2							○		
		情報数学演習	半期					●	1							○		
		応用線形代数学	半期		●	2										○		
		応用線形代数学演習	半期		●	1										○		
		情報理論	半期				●		2							○		
		情報理論演習	半期				●		1							○		
		符号理論	半期								●	2				◆		
		最適化法	半期					●	2									
		信号処理工学	半期							●		2				◆		
	情報工学科目群	情報工学基礎	半期	●		2					●		2				○	情報工学科目群から10単位以上
		データサイエンス	半期								●		2				○	
		データサイエンス演習	半期								●		1				○	
		アルゴリズム論	半期					●	2							○		
		アルゴリズム論演習	半期					●	1							○		
		ソフトウェア開発演習Ⅰ	半期				●		2						◆必修	○		
		ソフトウェア開発演習Ⅱ	半期					●	2						◆必修			
		シミュレーション工学	半期									●		2	◆			
		センサネットワーク工学	半期								●	2			◆			
		人工知能	半期								●	2			◆			
		デジタル回路設計	半期				●		2						◆			
		情報セキュリティ工学	半期								●	2						
	オペレーティングシステム論	半期										●		2				
	通信工学科目群	情報通信工学	半期							●		2				◆必修	○	通信工学科目群から11単位以上
		通信システム工学	半期								●	2				◆必修	○	
		インターネット工学	半期							●		2				◆必修	○	
		インターネット工学演習	半期								●	1					○	
		電気電子計測	半期							●		2				◆必修	○	
		通信工学基礎Ⅰ	半期				●		2						◆必修	○		
		通信工学基礎Ⅱ	半期				●		2									
通信工学基礎Ⅲ		半期					●	2										
通信工学基礎演習		半期					●	1						◆				
電磁波工学		半期								●	2							
情報通信法規		半期										●		2				
情報通信工学実験Ⅰ		半期								●		2			◆必修			
情報通信工学実験Ⅱ		半期									●	2			◆必修			

※開講学年前期後期欄 { ○○ー前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												資格		必修	備 考
			1 年			2 年			3 年			4 年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
															} ◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ◆印－工業教職関連科目（選択、必修）			
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期										●		2	◆必修			
	工科系の職業指導	半期										●		2	◆必修			
	情報基盤系の職業指導	半期											●	2	◆必修			
教職等に関する科目	現代教職論	半期	●		2										◆必修			
	教育原理	通年	●	●	4										◆必修			
	教育心理学	半期					●	2							◆必修			
	教育課程論	半期				●		2							◆必修			
	教科教育法Ⅰ（工業）	半期							●		2				◆必修			
	教科教育法Ⅲ（工業）	半期								●	2				◆必修			
	特別活動の理論と方法	半期							●		2				◆必修			
	教育方法	半期					●	2							◆必修			
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●		2							◆必修			
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2							◆必修			
	教育実習Ⅰ	通年										●	●	3	◆必修			
	教職実践演習（中・高）	半期											●	2	◆必修			

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目			2	
外国語科目		第 1 類（必修）	4	
学部共通専門科目※			28	
学科専門科目	情報基盤工学基礎科目群		13	52
	情報工学科目群		10	
	通信工学科目群		11	
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第 1 類～第 2 類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計 8 単位まで)				
卒業単位				124

※「物理学Ⅱ」、「自然科学実験ファンダメンタルズ」、「微分方程式」、「フーリエ解析」、「確率統計学」、「プログラミング応用」、「工業英語」から6単位以上を含むこと。

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目 (ジュニアセミナーを含むこと)	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 情報数理演習Ⅰ（線形代数学）	
2 情報数理演習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）	
3 情報数理演習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）	
4 ソフトウェア開発演習Ⅰ	
進級単位	100

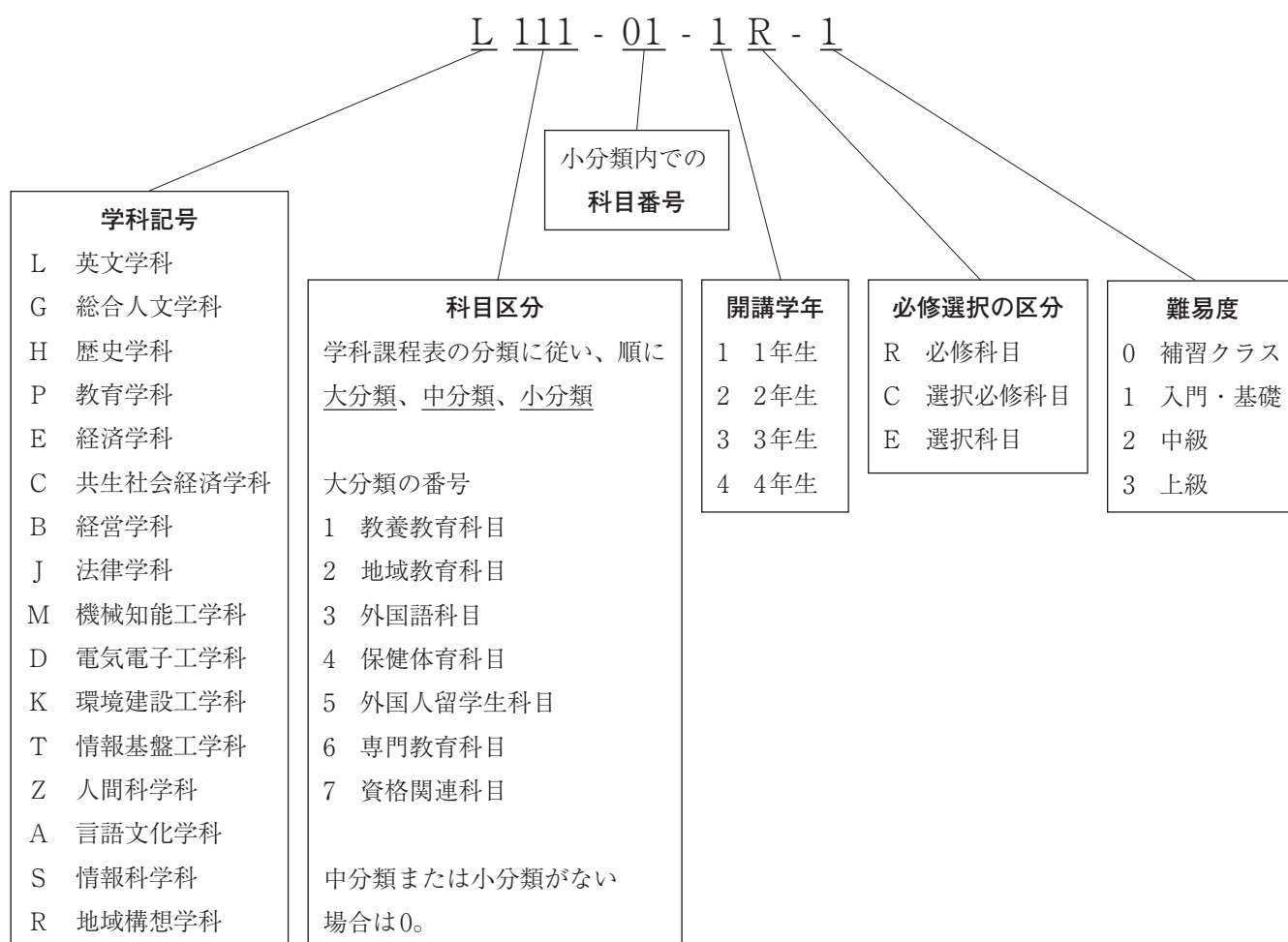
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
T111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
T111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
T111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
T111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
T111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
T111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
T111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
T111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
T111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
T111-10-1E-1	キャリア形成と大学生生活			◎		
T112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
T112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
T112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
T112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
T112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
T112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
T112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
T112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
T121-01-2E-1	哲学			◎		
T121-02-1E-1	芸術論			◎		
T121-03-2E-1	歴史学			◎		
T121-04-2E-1	心理学			◎		
T121-05-2E-1	社会学			◎		
T121-06-2E-1	経済学			◎		
T121-07-2E-1	経営学			◎		
T121-08-2E-1	法学			◎		
T121-09-1E-1	日本国憲法			◎		
T121-10-2E-1	東北地域論			◎		
T122-01-2E-1	健康の科学			◎		
T122-02-1E-1	生命の科学			◎		
T122-03-1R-1	情報リテラシー		◎		○	
T122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー		○		◎	
T122-05-1E-1	基礎数学演習			◎	○	
T122-06-1E-1	基礎物理演習			◎	○	
T122-07-1E-1	基礎化学演習			◎	○	
T122-08-1E-1	技術者倫理				◎	○
T122-09-3E-2	知的所有権				◎	○
T200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
T200-02-2R-1	地域の課題Ⅰ					◎
T200-03-2E-1	地域の課題Ⅱ					◎
T200-04-3E-2	地域課題演習					◎
T310-01-1R-1	英語ⅠA		◎	○		
T310-02-1R-1	英語ⅠB		◎	○		
T310-03-2R-2	英語ⅡA		◎	○		
T310-04-2R-2	英語ⅡB		◎	○		
T310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
T320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
T320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
T320-03-1E-1	中国語		◎	○		
T320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
T330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
T330-02-3E-3	英語Ⅲ		◎	○		
T400-01-1E-1	体育講義			◎		
T400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
T510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
T510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
T510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
T520-01-1E-1	日本語ⅠA		◎	○		
T520-02-1E-1	日本語ⅠB		◎	○		
T520-03-2E-2	日本語ⅡA		◎	○		
T520-04-2E-2	日本語ⅡB		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							
		現代をよく生 きることに ついて、キリス ト教の教えを 踏まえた考察 ができる	高度な知的活 動に必要な汎 用的諸技能・ 能力及び英語 力を活用でき る	ものごとを 広く多様な視 点から認識し 、異なる認識 ・思考方法や 価値観に理解 を示すことが できる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	(1) 工学系分 野が基礎とす る数学や自然 科学及び工学 系の専門基礎 知識に基づ き、個々の専 門分野に固有 の認識や思考 方法について 、それらの 概要を説明す ることができる。	(2) 社会が要 求する問題を 解決するため に、科学技術 に関する情報 を自ら積極的 に入手し、課 題に関する分 析や解決策に ついて工学的 見地から意見 を述べること ができる。	(3) 卒業研究 を通して、専 門分野の基礎 知識を活用し て自主的な学 修を進めると ともに、研究 成果をとりま とめ、その概 要を説明する ことができる。	(4) 工学系の 幅広い分野の 事象に興味を 持ち、その状 況下での工学 技術者として の倫理の重要 性について説 明することが できる。
T610-01-1R-1 T610-02-2C-2 T610-03-1R-1 T610-04-1R-2 T610-05-1R-1 T610-06-1C-1 T610-07-2C-2 T610-08-2C-3 T610-09-2C-2 T610-10-1R-1 T610-11-2C-2 T610-12-3C-2 T610-13-2R-2 T610-14-3R-3 T610-15-3R-3 T610-16-4R-3 T610-17-4R-3 T610-18-3E-3 T610-19-3E-3 T610-20-3E-3 T610-21-2E-3 T610-22-2E-3	物理学Ⅰ			○	◎				
	物理学Ⅱ			○	◎				
	微分積分学Ⅰ			○	◎				
	微分積分学Ⅱ			○	◎				
	線形代数学			○	◎				
	自然科学実験ファンダメンタルズ			○	◎				
	微分方程式			○	◎				
	フーリエ解析			○	◎				
	確率統計学			○	◎				
	プログラミング基礎				◎				○
	プログラミング応用				◎				○
	工業英語		◎						
	工学総合演習Ⅰ			◎	○				
	工学総合演習Ⅱ			◎	○				
	ジュニアセミナー			◎					○
	卒業研究Ⅰ						○	◎	
	卒業研究Ⅱ						○	◎	
	学外見学						◎		○
	インターンシップ				○		◎		○
	キャリア・デザイン				○		◎		○
	海外研究Ⅰ		◎						
	海外研究Ⅱ		◎		○				
T620-01-1R-1 T620-02-1R-1 T620-03-1R-2 T620-04-2R-2 T620-05-2R-2 T620-06-2R-2 T620-07-1R-2 T620-08-1R-2 T620-09-2R-2 T620-10-2R-2 T620-11-3E-3 T620-12-2E-2 T620-13-3E-3	情報数理演習Ⅰ（線形代数学）			○	◎				
	情報数理演習Ⅱ（微分積分学Ⅰ）			○	◎				
	情報数理演習Ⅲ（微分積分学Ⅱ）			○	◎				
	確率統計学演習			○	◎				
	情報数学			○	◎				
	情報数学演習			○	◎				
	応用線形代数学			○	◎				
	応用線形代数学演習			○	◎				
	情報理論			○	◎				
	情報理論演習			○	◎				
	符号理論			○	◎				
	最適化法			○	◎				
	信号処理工学			○	◎				
T630-01-1R-1 T630-02-3R-2 T630-03-3R-2 T630-04-2R-2 T630-05-2R-2 T630-06-2R-1 T630-07-2E-2 T630-08-4E-3 T630-09-3E-3 T630-10-3E-3 T630-11-2E-2 T630-12-3E-3 T630-13-4E-3	情報工学基礎			○	◎				
	データサイエンス			○	◎				
	データサイエンス演習			○	◎				
	アルゴリズム論			○	◎				
	アルゴリズム論演習			○	◎				
	ソフトウェア開発演習Ⅰ			○					◎
	ソフトウェア開発演習Ⅱ			○					◎
	シミュレーション工学			○	◎				
	センサネットワーク工学			○	◎				
	人工知能			○	◎				
	ディジタル回路設計			○	◎				
	情報セキュリティ工学			○	◎				
	オペレーティングシステム論			○	◎				
T640-01-3R-2 T640-02-3R-3 T640-03-3R-2 T640-04-3R-2 T640-05-3R-2 T640-06-2R-1 T640-07-2E-2 T640-08-2E-2 T640-09-2E-2 T640-10-3E-3 T640-11-4E-2 T640-12-3E-2 T640-13-3E-3	情報通信工学			○	◎				
	通信システム工学			○	◎				
	インターネット工学			○	◎				
	インターネット工学演習			○	◎				
	電気電子計測			○	◎				
	通信工学基礎Ⅰ			○	◎				
	通信工学基礎Ⅱ			○	◎				
	通信工学基礎Ⅲ			○	◎				
	通信工学基礎演習			○	◎				
	電磁波工学			○	◎				
	情報通信法規			○	◎				
	情報通信工学実験Ⅰ			○					◎
	情報通信工学実験Ⅱ			○					◎
T701-01-4R-3 T701-02-4R-3 T701-03-4R-3	工業技術概論			○			◎		
	工科系の職業指導			○			◎		
	情報基盤系の職業指導			○			◎		
T702-01-1R-1 T702-02-1R-1 T702-03-2R-1 T702-04-2R-1 T702-05-3R-2 T702-06-3R-2 T702-07-3R-2 T702-08-2R-2 T702-09-2R-1 T702-10-2R-2 T702-11-4R-3 T702-12-4R-3	現代教職論			◎					
	教育原理			◎					
	教育心理学			◎					
	教育課程論			◎					
	教科教育法Ⅰ（工業）			◎					
	教科教育法Ⅲ（工業）			◎					
	特別活動の理論と方法			◎					
	教育方法			◎					
	教育の相談と指導Ⅰ			◎					
	教育の相談と指導Ⅱ			◎					
	教育実習Ⅰ			○					◎
	教職実践演習（中・高）			○					◎